

< N P O法人等の非農家等との連携を目標としている事例 >

## 「村らしさ」を維持し、安らぎの場を提供

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県三戸郡新郷村 <small>さんのへぐんしんごうむら</small> 大畑 <small>おおはた</small>			
協定面積 11.6ha	田(100%) 水稲、そば	畑	草地	採草放牧地
交付金額 242.8万円	個人配分			40 %
	共同取組活動 (60%)	担当者活動経費		10 %
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費		18 %
		体制整備に関する活動経費		29 %
	農用地維持管理活動経費		3 %	
協定参加者	農業者 17人(うち集落外4名)、新郷村立川代小学校			

### 2. 取組に至る経緯

当集落は高齢化が進んでおり、10年後には集落内の農家は後継者不足で確実に減少すると見込まれていることから、「村らしさ」を失うことのないよう、農業生産活動等の継続や地域活性化などに向けた取組を行っていくこととした。

### 3. 取組の内容

集落内の高齢者には、そば打ちやわら細工、炭焼き等の技術を有している者が多いことから、子どもたちを含んだ次世代に継承すべく、世代間交流や都市住民との交流を進めていくことで、高齢者の生き甲斐につなげるとともに地域の活性化を図っている。

また、子どもたちが水田の生物を観察する機会を増やし、水田の持つ多面的機能を学ばせるほか、町内の小学生による「大黒舞」を積極的に援助し、地域の伝統文化の保護と町内の活性化も図っている。

これらの活動に加え、当協定代表者がインターネット上にブログ「そば好房 鬼蓮庵」を開設し、集落協定活動を含む、集落の様子等の情報を随時、発信している。



小学生によるそばの収穫体験



対象農用地内に建設した炭窯

### [ 集落の将来像 ]

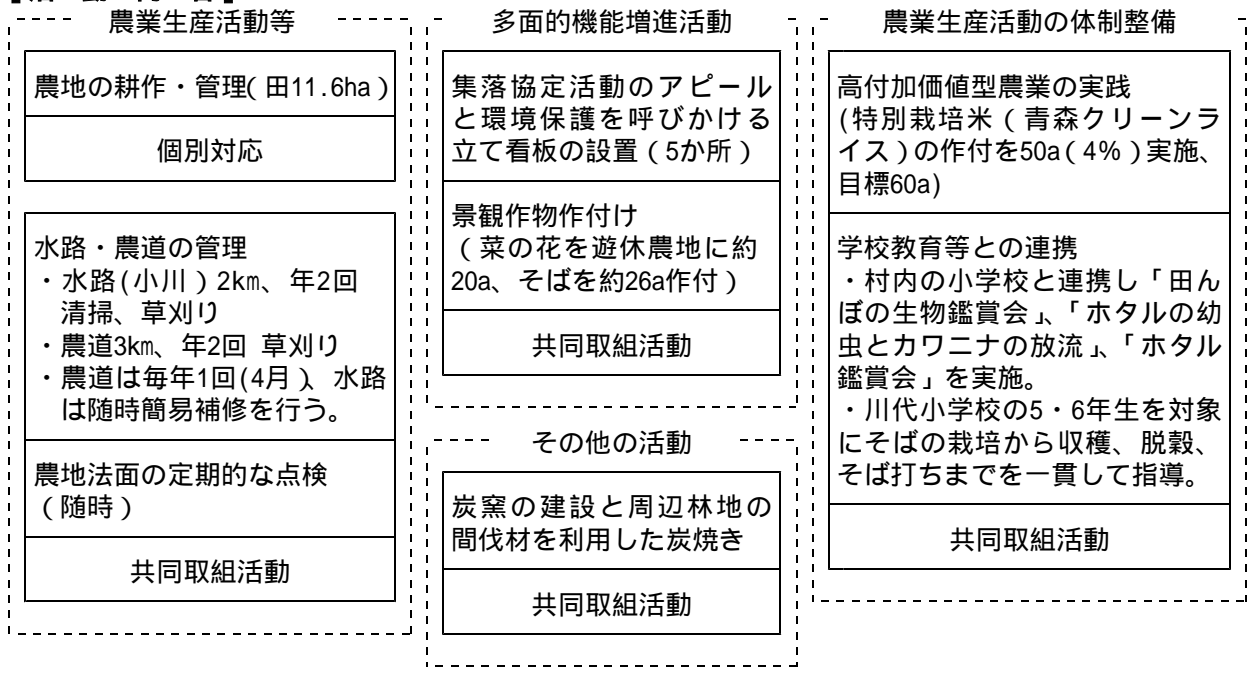
農業景観や文化継承などの多面的機能を次世代に残して、継続性のある農業生産活動を可能とし、「村らしさ」を失うことのないよう集落の維持を行う。また、高付加価値型農業の実践や村内の小学校と連携し、そばの生産から加工までの一連体験学習及び田んぼの生物観察会を行っていく。



### [ 将来像を実現するための活動目標 ]

高付加価値型農業に向けた特別栽培米の作付けの推進  
学校教育等と連携した自然保全活動の実施

### [ 活 動 内 容 ]



### 集落外との連携

ボランティアで行っている団体「芝棟・新郷プロジェクト」と連携し、茅葺民家の再生や炭焼き体験を開催。炭窯については集落協定の事業の一部として集落内に建設したものを使用し、炭焼きの技術指導は集落協定の構成員が担当。

## 4. 取組による変化と今後の課題等

体験学習等、集落の枠を越えた活動に発展した取組もあり、地域全体の活性化に貢献している。一方、高齢化による労働力不足が懸念されることから、農用地の保全を進めるとともに、担い手や生産組織の育成等について積極的に進めていく必要がある。

### [ 平成20年度までの主な効果 ]

高付加価値型農業による減農薬栽培

- ・炭焼きの際に出る「木酢液」の水田への散布及び水田に鯉を放流して除草剤の使用を極力抑えた特別栽培米「青森クリーンライス」の生産(当初0a、目標60a、H20実績50a)

小学校と連携した自然生態系の保全活動

- ・平成20年度から川代小学校に加え、村内の戸来小学校(6年生、19名)が新たに加わり、そばの栽培からそば打ちに至るまでの一連の体験学習の実施。